

第1回(平成8年度実施)次世代鉄鋼奨学助成受給決定者

本会では、大学等における鉄鋼の研究に係わる分野での次世代の教育者や研究指導者を目指している優秀な大学院博士課程の学生を奨学する「次世代鉄鋼奨学」助成事業を、平成7年度から創設し、平成8年度から助成金の交付を開始いたします。学術準備小委員会による一次選考と、総合企画会議助成委員会による最終選考を経て、次の4名が受給者に選定されました。

助成期間は、平成8年4月から平成11年3月までです。

受給決定者	大学	博士課程における研究テーマ	指導教育者
松丸 幸司	東工大	熱プラズマと溶融金属間の界面移動現象に関する物理化学的研究	永田 和宏
三木 貴博	東大	溶融合金中微量元素の熱力学的研究	佐野 信雄
川畑 涼	京大	金属系素材のリサイクルに関する熱力学的研究	岩瀬 正則
内田 泰亮	横国大	プレス加工における工具-材料界面のトライボロジー相似則の研究	小豆島 明

第24回日向方斉学術振興交付金受給決定者

外本 和幸 熊本大学工学部 助教授 International Conference on Metallurgical and Materials Applications of Shock-Wave and High-Strain-Rate Phenomena (EXPLOMET'95) (衝撃波及び高歪速度現象の金属学及び材料学的応用に関する国際会議, イクスプロメット'95) 95年8月6日～8月10日, アメリカ, エルバソ

佐藤 弘孝 東北大学大学院 博士課程後期3年 23rd Australasian Chemical Engineering Conference and Exhibition (第23回オーストラリア化学工学会講演大会) 95年9月24日～9月27日, オーストラリア, アデレード

●「日向方斉学術振興交付金制度」による助成事業内容の見直し変更のお知らせ●

「日向方斉学術振興交付金制度」は若手研究者に国際会議で論文を発表する際の渡航費、登録費、滞在費として、1982年～1995年までの14年間に、延べ103名を支援して来ました。

最近に至り、鉄鋼研究振興助成金制度(1992年新設)を活用して国際会議で発表するケースや鉄鋼関連研究者の絶対数の減少、また円高による海外渡航の容易化もあって、応募者は漸次減少の傾向にありました。

リストラ80で「時代のニーズに沿った助成事業への変更」が決まり、助成委員会は、本基金の趣旨「国際的学術交流の支援」も勘案し、新事業の発足に向け次のように移行させることにいたしました。

1. 若手研究者が国際会議で発表する際の渡航費、登録費、滞在費を支援する事業は第25回(平成7年度秋)をもって終了します。
(「鉄と鋼」6月号募集会告参照, 対象となる国際会議は、平成7年10月から8年3月までに開催されるものとする。)
2. 助成事業内容の見直し変更について
本会が主催する「国際会議」を助成する「新規事業内容」で平成8年度から発足させるべく準備に入ります。
「新規事業内容」の詳細が決まり次第、学会部門会議および生産技術部門会議に提示し、本誌に会告致します。

財トステム建材産業振興財団助成公募

1. 助成対象:

- 1) 住宅・建材産業に関する調査及び研究に対する助成
- 2) 住宅・建材産業に関する人材育成に対する助成
- 3) 住宅・建材産業に関する内外関係機関等との交流及び協力に対する助成
- 4) 住宅・建材産業に関する研究発表会・シンポジウム等の開催に対する助成

2. 申込期限:平成7年7月28日(金)

3. 問合せ先:財団法人トステム建材産業振興財団 水止, 普輪崎

〒136 東京都江東区大島2-1-1 TEL(03)5626-1008 FAX(03)5626-1033